

# 資料4 (当日配布)

## 令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 委員からの意見及び質問

事業名：【日本の伝統文化である節句まつりの継承】

### ○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いいたします。

項番	意見
1	総事業費に対して助成金申請額の比率が高い。もし助成を受けないあるいは満額に達しない場合はどうするのか？ また、伝統を継承するのは良いが、新規性は何か？年1回の単発イベントに終わらないか？
2	継続的、発展的の広がり期待する。
3	・端午の節句文化を継承するための複数年のイベント開催実績を評価します。 ・文化継承の効果の数値目標化を期待します。 ・岩槻の人形文化を次世代に伝えるひと工夫を求めたいです。市民（岩槻だけでなく他の区も含め）がお持ちの鯉のぼりをお借りする（賃借料）、ボランティア募集（謝金）により、経費を削減しながら地域を巻き込むことを期待します。
4	・事業費が高額のため継続するための仕組み作りに期待します。
5	・節句文化継承の目的は良い試みと感じる ・悪いことではないが、展示が多く、目的で「五節句の祝いや成り立ちを理解できていない人も多い現状」であるならば、節句文化に関する知識を周知してもらう内容のものを盛り込んだらより良いと感じられた
6	川越のまちづくりを思わせるような発展性が期待出来て素晴らしいと思います。
7	岩槻は、「人形のまち」「城下町」として、歴史ある地域である。また、近年ではアニメ「着せ恋」の影響もあってか、少しずつ知名度が上がっているのではないだろうか。 このような歴史ある岩槻において、日本の伝統文化である「端午の節句」を盛り上げるイベントを実施することに大いに賛成である。 しかし、事業計画書の「9.他団体との連携状況」を確認すると、告知・広報での協力団体は、岩槻周辺の団体が圧倒的に多い。貴団体が計画書において課題として設定している「市内外の方に広く魅力や伝統を周知し、岩槻の魅力を高めていく事」を念頭に置くと、岩槻の関係団体や市による告知・広報では周知の範囲に限られてしまう。広く文化を継承する役割を果たす為にも全国規模での告知・広報について、その方法（ex. SNS運用、全国展開している企業との連携など）を模索しても良いのではないかと感じた。
8	謝金(設置、撤収)、委託料が、他の事業に比べ高い気がします。
9	五節句の文化継承は、人形のまちとしての岩槻地区にとって最適なテーマであり、安定継続を期待しています。まちかどひな巡りが続いているが、他団体との横のつながりを含め、昨年にも課題とされていた助成後も事業継続ができる仕組みづくりの明確化を期待します。
10	人形の作り手がいての岩槻なのに作り手に光が当たっていない。イベントありきになっているのではないか。人形は鴻巣のイメージを超えられるものになるか。
11	観光国際課は、どうやって外国人へ訴求し、団体の外国人の方の参加の受入態勢はどうなっているのかが資料から見れない

### ○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
2	【事業計画書 *事業の概要】 「マッチングファンドの申請回数（前回の結果）」では、参加者数2,100名とありますが、このうち市外からの参加者数は何人いらっしゃるのでしょうか。また、市外から参加された方は、どのような方法で「日本の伝統文化である節句祭りの継承と新しい挑戦」の情報を知ったのでしょうか。	
3	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 「端午の節句に関するもの」は、そのほとんどが展示となっていますが、課題としている「節句の理解について」どのような取り組みがイベントで行われるのでしょうか。	
3	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 「端午の節句に関するもの」以外について、他のイベントとの違いをどのように出していくのでしょうか。	
3	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 まち巡り参加店は、どのくらいの店舗数（見込み）なのでしょうか？	
5	【事業計画書 6助成終了後の事業展開】 五節句イベントの底上げ、地域文化や地域資源との連携とあるが、具体案は？	
5	【事業計画書 6助成終了後の事業展開】 助成金で得ている100万円の資金をどのように集めていくのか、具体的な見通しを教えてください。	
11	【事業計画書 団体概要】 会員数の個人会員について、平均年齢を教えてください。	
22	【令和5年度活動予算書】 経常費用の業務委託費について、具体的な内容を教えてください。	

### ○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
	なし	

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 委員からの意見及び質問

事業名：【Happy マルシェ】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いいたします。

項番	意見
1	昨年度も毎月1回開催し、参加者が多く、地域に根差したイベントとして継続、発展が望まれる
2	派生イベントの取り組みが興味深い。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>マルシェをきっかけとして、近隣マンションの自治会からも依頼されるなど、コミュニティ形成への市民の期待が高まっており、社会貢献性、発展性の点で評価します。</li> <li>こどもの居場所づくりなど新しいことに取り組んでおり、先進性や実現可能性を評価します。</li> <li>今後の拡大では事務局機能の強化が必須で、収益を獲得しながら進めてくださることを期待します。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のネットワーク形成に寄与していて発展性もあると思います。継続するための仕組み作りにも期待します。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活様式の多様化や価値観の変化により、自治会の加入が減少し、住民のコミュニティが希薄な現代において、このような試みは良いと感じられた</li> <li>また、マンションコミュニティの一助としてのマルシェやキッズあきんどは、現代の課題でもあり、今後の発展の可能性も感じられた</li> </ul>
6	今後タワマン等を対象にしたコンサル事業の具体的な事業化が見込めそうなところも本当に素晴らしいと思います。
7	<p>ソフト面（住民同士の繋がり）を意識し、多世代交流の場として、ネットワーク構築の場として多くの区民や関係者を巻き込みながら作り上げているマルシェということで、市民協働の在り方としては非常に優れていると感じる。また、開催場所を高架下にするというのも面白い発想である。</p> <p>貴団体のSNSも確認したが、Instagramもフォロワーが1,682名（2024.2.17現在）と非常に多く、発信力（広報力）にも長けている。</p> <p>一方で、次年度からは開催ペースを今年度の半分にするとの記載があった。SNS（Instagram）を確認すると、「現在、出店者さんの募集は行っておりません（3月末まで満員）」との記載がある。この文言から多くの出店希望者がいるのかと感じた。今後、さらに認知度が向上するとなると出店希望者が増加する可能性がある。開催回数を半減するということは、出店者にとって出店の機会を半減されることにもなるが、開催ペースの半減について関係者間で合意形成が取れているのか疑問に感じた。</p>
8	地域性に応じたニーズをとらえた活動として、今後も発展していくことを期待しています。
9	マルシェは先進的ではないが、子供の力を伸ばす事業も行っていることは発展性、社会貢献性を感じます。近年開発のめざましい武蔵浦和に絞っていることも評価します。
10	「共感された方が毎月のサポート役に出てくださる」のが良いと思います。
11	内容としては毎回素晴らしいと思うが、昨年よりパワーアップ、改善した部分を知りたい。

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
3	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 派生イベントについて詳細を知りたい。	
5	【事業計画書 4この課題に関連した、団体のこれまでに取組や特性】 令和6年度以降は「1つずつのイベントをより豊かにしていく目的で開催ペースを半分程度に落とすことを考えております。」との記載がありますが、貴団体の企画の周知が広まり注目を集めることになると参加者や出店希望者が増加することが見込まれます。つまり、出店者側の成果発表（販売）の機会が減少することも考えられますが、この点についてどうお考えですか？	
13	【事業計画書 団体概要】 会員数について団体の継続や発展に向けた組織づくりをどのように考えていますか？	

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答

なし

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 委員からの意見及び質問

事業名：【妊娠期からの多胎ファミリー教室】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いいたします。

項番	意見
1	意義はあるが参加者が限定的とも思われる。実際に多胎がわかった人のみ参加できるとするのか。オンラインならより多様な人の参加もあってよいのでは。
2	安心な出産・子育てにつながる活動と感じた。
3	・多胎児という行政の手の回りにくい分野にフォーカスを充てた取組を、専門家の助言を受けながらの実績を評価します。 ・助成金がなくなった場合の継続性が必要で、講習会・相談会などで受益者負担を求めることも検討されたい。
4	・市と協働して行う意義は高いと思います。
5	・多胎ファミリー特有の悩みなど、共有してもらえぬ知り合いが増える等、妊婦やその家族だけで悩みを抱えず、同じ状況の家族に出会えることで、知識や情報も増え、安心感につながり、大変良い試みであると感じられた
6	多胎家族の経験者の特性を活かした取り組みで、この活動に助けられた方々がきっとゆくゆくは運営側に参加することもあろうことも期待できて、素晴らしいと思います。
7	多胎のパパママにとって、貴団体の事業は地域で支え合うという繋がりを作る為に重要であると感じている。また、行政が行う「母親（両親）学級」の盲点を補う役割を持つ非常に有意義なものであることは事業計画書からも伺える。しかし、事業費が膨大であるのに対して受益者数が少ないように思える。これは多胎の割合からしても仕方ないことではあるが、参加者から参加費用の徴収のみでは事業継続は困難であると考えている。また、事業計画書の「6. 助成終了後の事業展開」を見ると、自立した事業の継続は現実的に厳しいのではないだろうか。仮に助成がなくなったとしても運営を継続していく為の基盤を整えてもらいたい。
8	参加の人数に対しての助成金の高さが気になる。参加者に対してのスタッフの数は適正か？規模感のスリム化が望ましく感じる。自立時可能か？
9	専門性の高い支援を提供され、参加された方を支援側の人材として育成されて広げられている本活動が、協働の形として全国にも広がることを期待しています。
10	イベントだけでなく、団体のWebサイトを作り、正しい知識や情報をいつでも手にできる体制づくりをすることで、団体の認知度やイベント参加者の増加に繋がる可能性がある。体調が不安定だからこそ、安定している時に情報を得られるチャンスがあるようにご検討いただきたい。
11	継続すると初期参加者のお子さんは大きくなるが、小さい年齢を対象とするのか、幅広い年齢層を年齢層ごとに対象とするのかで、発展性が変わると思っています。
12	心に寄り添う活動は必要。
13	まだまだ粗削りな部分はあるが、とても大切なテーマを扱っており、このような活動こそ、継続した支援と市との連携が必要だと考える。

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
2	【事業計画書 *事業の概要】 令和5年度の事業において、参加した多胎家族は組ではなく人数にすると何人ぐらいいらっしゃるのでしょうか。	
2	【事業計画書 *事業の概要】 前年度10組の参加とのことですが、対面での1開催の参加者数の見込みは？	
4	【事業計画書 3事業により期待できる成果・効果】 当事業について、行政や病院が行っている支援との違いを知りたい。	
4	【事業計画書 3事業により期待できる成果・効果】 事業後の参加者同士のつながりは、どのくらい生まれますか。また、オンライン参加の場合は、つながりをどのようにサポートしていますか。	
7	【事業計画書 5市との協働に期待すること】 市との協働事業であるという広報や周知などは、どのようにされますか？	
8	【事業計画書 6助成終了後の事業展開】 「②関心を持つ市民や企業からの募金を募ること。」とありますが、具体的にはどのような方法でどれくらいの金額を集めるという考えがあればお聞かせ下さい。また、現時点で協賛や募金は募っているのでしょうか。	
11	【事業収支計算書 支出】 参加人数に対して、スタッフが20名で謝礼、報酬共に規模感はあるか？	
11	【事業収支計算書 支出】 「支出：③消耗品費」には、参加者用教材冊子が一冊あたり1,000円とありますが、どのような冊子なのでしょうか。	
11	【事業収支計算書 支出】 チラシ郵送はどんな所に？オンラインを3回とも開催との事なので、ネット中心の告知の方が有効ではないか？	

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
	なし	

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 委員からの意見及び質問  
 事業名：【幻の鉄道「武州鉄道」開業100年記念事業】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いします。

項番	意見
1	「武州鉄道」は知名度が低く、イベントによる波及効果や継続性が不明瞭。
2	地域経済活性化につながる活動を期待したい。
3	・朝顔市などの実績があるため、実現性はあると思われる。 ・ウォークラリーは100年を記念しているが、継続性が必要なため、テーマ設定や、受益者負担も検討されたい。
4	・朝顔市の実施経験を事業開催に活かせるように期待します。
5	・「幻の鉄道」に目を付けた着眼点は面白い試みであると感じられた ・記念事業をきっかけとした可能性も感じられたので、今後の展開の何か具体的な検討事項も盛り込まれているとより良いと感じられた
6	すでにガイド会さま等との連携や、鉄道ならではの市外県外との観光地との連携の発展性があることは素晴らしいと思います。
7	貴団体が事業計画書「1.現状における課題と事業の目的」に記載した「のびのびシティさいたま市（広報番組）：鉄道ロマン～幻の武州鉄道を追う」を視聴し、その歴史について深く学ぶことが出来た。生まれも育ちもさいたま市だが、武州鉄道を知ったのは初めてであり、歴史的価値のあるものであると実感した。 しかし、ウォークラリーが1日限りのものであることや市民への周知等を勘案すると多くの参加者を呼び込むことは困難であると感じる。 着眼点は面白く鉄道に興味があれば身としても賛成と言いたいところだが、突発的に企画されたものという印象を受けてしまった。
8	岩槻の町を舞台にした街巡りの取組は他にもありますが、各地の鉄道ファンをどのように取り込めるか、初回となる今回を基に、その可能性に期待します。
9	組織における会議費の割合が多いように感じます。鉄道ファンをひきつけるとは思いますが、幻の鉄道なので継続化できるか不安あり。経費はもう少しかかるように感じます。
10	新規性、必要性が資料からは伝わってこず、岩槻区観光経済室も意見を一切書いていなく、消極的に見え、実現はできるだろうが意味があるのか疑問

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
3	【事業計画書 1 現状における課題と事業の目的】 潜在的にある多くの観光資源とは？	
4	【事業計画書 3 事業により期待できる成果・効果】 武州鉄道の線路・駅の跡地には、碑や看板などはあるのでしょうか。	
4	【事業計画書 3 事業により期待できる成果・効果】 イベントだけにぎわいだけでなく、観光資源として、日常的な来訪者につながるような団体のノウハウや考え方があれば教えてください。	
5	【事業計画書 6 助成終了後の事業展開】 「実施に当たっては、参加者から参加費を集めるほか、協賛企業や団体などから協賛金を得るなど、資金の調達にも努めたいと思います。」との記載がありますが、“参加者”というのはウォークラリーなどに参加する方のことでしょうか。	
5	【事業計画書 6 助成終了後の事業展開】 参加費の具体的なイメージを教えてください。	

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
	なし	